



平成 29 年 03 月  
29-09

## 「ABC 分類」 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、認定 NPO 法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構から出された「新しい ABC 分類 胃がんリスク層別化検査(ABC 分類)2016 年度改訂版運用の手引き」に基づき、検査内容を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

### 対象項目

#### ● 3336 ABC 分類

本検査は、2015 年 6 月 30 日に発信された日本ヘリコバクター学会の注意喚起「H.ピロリ抗体が陰性であっても低値でない場合、胃がんリスクがない(A 群)と判定しないでください。」とされています。これを受けて胃がんリスク層別化検査運用研究会が検討し、「新しい ABC 分類 胃がんリスク層別化検査(ABC 分類)2016 年度改訂版運用の手引き」が示されました。

※ABC 分類における H.ピロリ抗体検査の判定基準を 10 U/mL 未満から 3 U/mL 未満と致します。

監修: 胃がんリスク層別化検査運用研究会

発行: 認定 NPO 法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構

【参考 URL】 <http://www.gastro-health-now.org>

### 変更期日

#### ● 平成 29 年 3 月 31 日(金) 受付日分より

# 「胃がんリスク層別化検査(ABC 分類)」改訂について

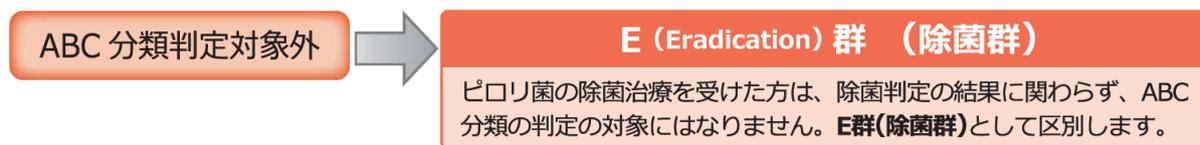
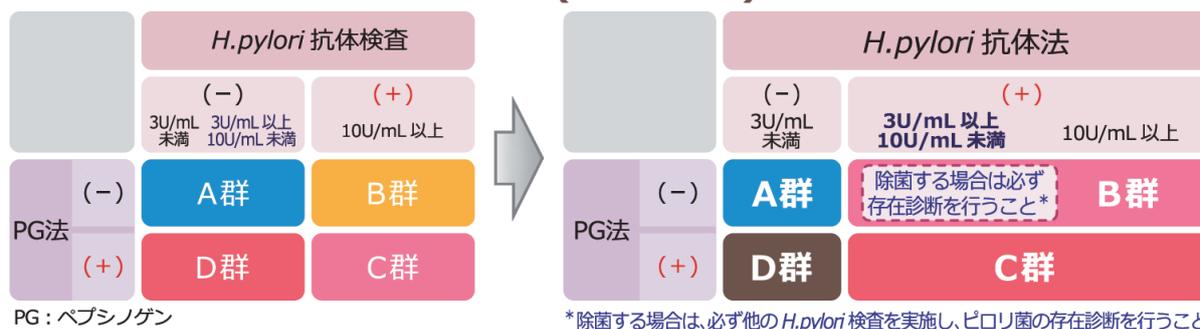
## 変更内容

コード	検査項目名	変更内容	新	旧
3336	ABC分類	項目コード	3777	3336
		検査項目名	胃がんリスクABC <sup>*1</sup>	ABC分類
		所要日数	3～6日	3～4日
		専用報告書	「胃がんリスク層別化検査」報告書	「ABC分類検査」報告書
1645	ヘリコバクター・ピロリ抗体	項目コード	3776	1645
		項目名称	ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC <sup>*2</sup>	ヘリコバクター・ピロリ抗体《LA》 <sup>*3</sup>
		検査方法	EIA [栄研化学]	LA [栄研化学]
		判定基準	判定基準 (-) : 3 U/mL 未満	判定基準 (-) : 10 U/mL 未満
		所要日数	3～6日	3～4日
3337	ペプシノーゲンABC	項目名称	ペプシノーゲンABC	ペプシノーゲンABC
		所要日数	3～6日	3～4日
備考		<p>*1: ピロリ菌の除菌治療を受けた方の運用を開始致します。除菌判定の結果に関わらず、各群の判定は行わず、E群としてご報告致します。詳細は、次頁をご参照ください。</p> <p>*2: ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABCは、EIA法による「胃がんリスク層別化検査」専用検査です。従来のLA法でのご依頼はお受け致しかねます。</p> <p>測定試薬は、Eプレート[栄研]H.ピロリ抗体Ⅱです。</p> <p>*3: 総合検査のご案内 67頁</p>		

※その他の検査要項に変更はございません。

## ABCD の新判定基準(新旧比較)

### 「胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類)」2016 年度改訂版



(「胃がんリスク層別化検査の運用について」を改定しております)

## 各群の受診者へのコメント(新旧比較)

### [新・胃の健康度]

報告区分		新コメント	旧コメント
		「胃がんリスク層別化検査」報告書	[ABC分類検査]報告書
分類	A群	健康な胃で、胃の病気になる危険性は低いですが、内視鏡検査をお勧めします。	健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。
	B群	少し弱った胃で、潰瘍等に注意下さい。内視鏡検査とピロリ除菌をお勧めします。	少し弱った胃です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意が必要です。
	C群	萎縮の進んだ弱った胃粘膜です。定期的な内視鏡検査とピロリ除菌をお勧めします。	弱った胃の可能性があります。内視鏡による定期的検査をお勧めします。
	D群	萎縮が非常に進んだ胃粘膜です。かならず内視鏡検査などの診断を受けましょう。	弱った胃の可能性が高いと思われます。内視鏡による定期的検査をお勧めします。
	E群	ピロリ菌除菌治療を受けた方は、E群として定期的に内視鏡検査を受けましょう。	未設定

※各群の受診者への詳細なコメントは、「胃がんリスク層別化検査報告書」の裏面をご参照ください。

## ご依頼方法

依頼方法	検査項目名	3項目同時依頼	
	胃がんリスクABC		3777
		3776	ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC
		3337	ペプシノゲンABC

## ピロリ菌の除菌治療後のご依頼方法

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、胃がんリスク層別化検査判定対象外となるため、ヘリコバクター・ピロリ抗体とペプシノゲンの測定値をご報告し、A、B、C、D 判定は行わず、E(Eradication)群としてご報告致します。

依頼方法	検査項目名	3項目同時依頼	
	胃がんリスクE群		3778
		3776	ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC
		3337	ペプシノゲンABC

# 「胃がんリスク層別化検査」報告書(見本)

「ABC 分類検査」報告書を下図の通り改版致します。また、報告書の名称を「胃がんリスク層別化検査」に変更致します。

## 【表面】

### 胃がんリスク層別化検査

検体No.

受診者名	様	年齢	性別
科名	カルテ№	採取日	年 月 日
担当医	患者ID	受付日	年 月 日
		報告日	年 月 日

#### ABC D分類判定結果

\*\*\* あなたの胃の状態 \*\*\*

**A群**  
健康な胃



**B群**  
少し弱った胃



**C群**  
弱った胃



**D群**  
かなり弱った胃



コメント

ABCD分類判定対象外  
E群(除菌群)  
ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、E群(除菌群)として定期的に内視鏡検査を受けましょう。

※報告書の裏面をご参照ください。

#### ペプシノゲン/ヘリコバクター・ピロリの判定結果

検査項目	判定	検査項目	判定	測定値
ペプシノゲン		ヘリコバクター・ピロリ抗体(BA)		U/mL
		判定基準(陽性)		3U/mL以上

ペプシノゲン検査項目	測定値	判定領域
ペプシノゲンⅠ	ng/mL	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
ペプシノゲンⅡ	ng/mL	0 10 20 30 40 50
ペプシノゲンⅠ/ペプシノゲンⅡ比		0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
判定基準(陽性)	ペプシノゲンⅠ：70ng/mL以下かつペプシノゲンⅠ/Ⅱ比：3.0以下	

医療機関  
検査実施施設  
株式会社LSIメディエンス  
インフォメーション  
医療機関用：(03)5994-2111

## 【裏面】

### あなたの「胃の健康度」は 血液でチェックすることができます！

ペプシノゲン検査

+

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

胃の検診で多く実施されているのはバリウムを飲んでから行うX線撮影で、フィルムに写った胃壁の凹凸から胃の状態を見る検査です。この方法とは別に、2種の血液検査を組み合わせることによって「胃の健康度」を調べることができます。

		ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	
		陰性(-) <sup>注</sup>	陽性(+)
ペプシノゲン検査	陰性(-)	<b>A</b> タイプ	<b>B</b> タイプ
	陽性(+)	<b>D</b> タイプ	<b>C</b> タイプ

(注) 一般診療において、ピロリ菌検査はピロリ菌抗体価10未満を陰性(現在ピロリ菌感染がない)と判定しますが、胃がんリスク層別化検査(ABC分類)では、A群にピロリ菌既感染・現感染の方が含まれることを減らすため、ピロリ菌抗体価3未満を陰性と判定しています。

A タイプ



おおむね健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。逆流性食道炎などピロリ菌に関連しない病気に注意しましょう。未感染の可能性が高いですが、一部にはゼロリ菌の感染や感染の既往がある方が含まれます。一度は内視鏡検査などの画像検査を受けることが理想的です。

B タイプ



少し弱った胃粘膜です。胃がいわゆる「十二指腸かいよう」などに注意しましょう。内視鏡検査を受けましょう。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

C タイプ



萎縮の進んだ弱った胃粘膜と考えられます。胃がんになりやすいタイプと考えられます。定期的な内視鏡検査をお勧めします。ピロリ菌の除菌治療をお勧めします。

D タイプ



萎縮が非常に進んだ胃粘膜と考えられます。胃がんなどの病気になるリスクがあります。ピロリ菌感染診断をお勧めします。かならず専門医療機関で内視鏡検査などの診断を受けてご相談ください。

E タイプ

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、E群(除菌群)として定期的な内視鏡検査を受けましょう。

E群は除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではありませんので、除菌後も内視鏡検査による経過観察が必要です。

監修：一般財団法人呼吸会健康管理センター 井上 和彦

\*縮小して掲載しています。

4